

購買管理システム検討中の企業が増加傾向 システムの内製から再び外注へ

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム業界全般について】

インターネット関連や医薬関連企業など業績が比較的好調な企業はシステム投資を積極的に行っています。特にインターネット関連企業は、新型インフルエンザの影響により「巣ごもり消費」に拍車がかかっているのか、業績を堅調に伸ばしており、システムの拡張を積極的に行っているようです。

積極的にシステム投資を行っているといっても、どのような案件に対しても投資するという形ではなく、予算の上限を設け必要度合いを詳細に吟味した上で、投資の可否を判断しています。つまり、必要度が低い案件については一旦保留とし、必要度の高い案件については、予算の上限額はあるもののその範囲内であれば、積極的に投資するという企業が増えているようです。

業務システムのリプレイスも進んでいます。10年以上前に開発したシステムのリプレイスを検討しているある企業では、受発注管理や作業実績管理等の機能により業務の効率化や原価の予実把握を目指しています。また他にも発注稟議の機能を備わった購買管理システムの導入を検討している企業が多くみられます。これまで支店がそれぞれ行っていた発注業務を本社で一括管理したり、また発注金額の妥当性を細かくチェックしたいとの要望によるものです。

これらのシステム投資に共通することは、コストを正確に把握した上で見直したいと考えている経営判断があることではないでしょうか。このようなケースの場合、このシステム投資が直接売上に結びつくことがないため、予算額が抑えられる傾向にあります。

【エンジニアについて】

昨年の終り頃から進んでいた内製化の流れが少し変わってきているように感じます。先月頃までは自社のシステム開発案件について自社要員でまかなっていた企業が、今月に入ってから以前に取引実績のある企業からエンジニアを採用し始めています。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7854 / E-MAIL：info@bbbreak.co.jp